

都留重人メモリアルコーナー戦後 70 年記念展示

都留重人の戦争



前期展示：開戦のアメリカ

後期展示：敗戦の日本

一橋大学経済研究所資料室 月 - 金 9:00-17:00

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/library>

都留重人メモリアルコーナー戦後70年記念企画展示

都留重人の戦争

1931年に父の勧めで渡米した都留重人は、ハーバード大学で博士号を取得し、講師を務めるまでになっていましたが、1941年12月8日の真珠湾攻撃によって太平洋戦争が始まると、日米交換船で帰国せざるをえなくなりました。

前期展示では渡米から交換船での帰国までを、後期展示では帰国から終戦までを、都留の足跡を追いながら、寄贈資料の中から戦争に関する資料を集めご紹介いたします。



『引揚日記』

—都留重人名誉教授寄贈資料について—

都留重人名誉教授(1912-2006)は、1949年に経済研究所所長に就任し、1956年までの4期及び1965-67年に所長を歴任しました。所長時代に定めた研究所の基本方針は、その後の研究所及び資料室の礎となり、コレクションの特色を成しています。このような経緯から、2003年秋に都留教授から手稿・書簡を含む膨大な資料が研究所に寄贈されました。

一橋大学 経済研究所資料室

〒186-8603 東京都国立市中 2-1
TEL 042-580-8320 / FAX 042-580-8319
<http://www.ier.hit-u.ac.jp/library>



表面：都留重人肖像写真 1931年